

「備前市文化財保存活用地域計画文化財（案）」に対する市民意見等の募集結果について

「備前市文化財保存活用地域計画文化財（案）」について、ご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と市の考え方は以下のとおりです。

- ・意見募集期間 令和3年7月26日（月曜日）から8月25日（水曜日）まで
- ・意見募集結果 2件（2名）

番号	意見等の要旨	市の考え方
1-1	<p>備前市は日本一の耐火物の生産拠点だが、文化遺産として認められているのは、僅かに三石地区の煉瓦煙突ぐらいのものである。長年耐火物メーカーで働いていた者にとっては、古くに使われていた製造設備は、貴重な財産と思える。例えば昨年解体された品川リフラクトリー社第二工場の丸窯などは、立派な産業遺産と言える。現在では使用されていない貴重なものだが殆ど残っておらず、保存には手遅れとも言えようが、調査だけでも欲しい。</p> <p>市内を散歩していると昔に作られた耐火煉瓦が道端に転がっている。煉瓦の表面には製造した会社の略号が刻印されている。市内に沢山あった耐火物メーカーの殆どが淘汰されてしまった今日、かつての繁栄が刻まれた貴重な遺産に思えて、これらがいつのまにか消えてしまうのかと思うと、残念でしょうがない。せめて、かつての各社一個だけでもこれらの煉瓦が集められないものであろうか。</p>	<p>関連文化財群「耐火煉瓦産業で日本の近代化を支えたまち」の保存活用に関する措置の中で、検討していきます。</p>
	<p>文化財の委員には耐火物関係の人が入っていないが、岡山セラミックス・センターの人に参加してもらったらどう</p>	<p>岡山セラミックスセンターとは備前歴史フォーラム等で協力した事業を行っています。</p>

	であろうか。	
1-2	<p>かつての備前市地域は春になると、コバノミツバツツジが全山で一斉に開花し見事なものであった。残念ながら今日では山の木々でツツジが見えにくくなり、花数も少なくなっているようである。私は、コバノミツバツツジと三石ロウ石の母岩である流紋岩との関係を確認するために、約20年前の何年間か、開花時期に野山を歩き回って分布調査し、両者に明らかな相関性があることが分かった。備前の花と地質が結びつく特性を備前市の植生に加えて欲しい。</p>	<p>コバノミツバツツジは本文中に掲載しました。地質との関係性は今後の研究課題と考えています。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に地域の偏りがある。記述について地域のバランスを取り重点施策の詳細を説明し、地域の活性化に視点を置き価値の掘り起こしを行うべきである。 ・ 同じ項目、内容が繰り返し記載されている部分があるので、組み換えるなど工夫して読みやすくしてはどうか。 ・ 地域に存在する未指定を含めた文化財、民俗の調査そして産業遺産の取り組みを重視し、産業遺産については専門家に評価をお願いすべきと考えます。 ・ 地域で行われている祭礼、お祭り、踊りに着目し、地域づくり、コミュニティの醸成、子どもたちの郷土愛につなげるために取り上げるべきで、特に若者を受け入れ、後継者育成につなぐ 	<p>地域の偏りに関しては、全体的なバランスの中で記述を変更しました。</p> <p>作成の指針にそって構成をしているので重複している部分がありますが、構成等を一部組み換えました。</p> <p>今後の取り組み課題として検討します。</p> <p>本計画がご指摘の点に寄与すると考えています。</p>

	<p>ために方策が求められる。文化審議会文化財分科会企画調査会の指針に沿って多様な文化財を調査・把握し、まちづくりや観光になど派生するように、総合的に文化財の保存・活用のために力を入れる内容にすべきである。</p> <p>・また、この機会にこれまでの文化財指定についても見直しを行うべきである。</p> <p>・文化財や歴史文化の価値と魅力を普及啓発のためシンポジウムを行い人づくりの推進をすべきである。</p> <p>P12 片上地区写真を入れるべき、耐火物工場を記載し、写真も載せるべきである。</p> <p>P14 10 行目 このままでいくとの表現を将来推定人口といった言葉に変えるべきである。</p> <p>P15 生産物に桃を加えるべきではないか。</p> <p>P21 6 行目 石筆製造時にでる石クズを原料にしたのが耐火煉瓦で・・・、石クズの表現は適切でないのではないか。ろう石を原料にして耐火煉瓦へ発展したとの表現が良いのではないか。</p> <p>・P21 11 行目 また文化面でも、与謝野晶子・鉄幹をはじめ・・・前文と文脈が変わりすぎるのではないか。</p>	<p>現在文化財保護審議会で検討中です。</p> <p>本計画の措置の中で実施されていく予定です。</p> <p>耐火物工場の写った写真を掲載しました。</p> <p>訂正しました。</p> <p>本文に加えました。</p> <p>「耐火特性が判明したろう石を原料に用いた～」と変更しました。</p> <p>文中の内容には影響していないので変更していません。</p>
--	---	---

<p>P22 2行目 直木賞作家の名前を記載すべきである。</p>	<p>記載しました。</p>
<p>P23 9行目 旧藤田組石積場 旧藤田組鉦石積場で誤植があるので、施設名を正確に記すべき。旧簡易裁判所（備前市歴史民俗資料館）を記載すべきである。また、産業遺産として片上鉄道、耐火煉瓦製造会社に触れるべき。</p>	<p>該当箇所を削除しました。産業の変遷のみを述べる項ではないので産業遺産に詳しく触れることはしていません。</p>
<p>P26 宇佐八幡宮の祭礼、お祭（だんじり・チョイヤサ巡行）を入れるべきと考える。民俗も文化財も記載すべきで民俗調査に力点を置き評価すべき。</p>	<p>この項は過去に行った文化資源に関する調査の概要が主であり、民俗文化財については記載しています。個々の位置づけに関しては、3章の備前市の文化資源の概要で部分的に述べています。</p>
<p>P36 藤原審爾の著書「罪な女」「秋津温泉」を記載すべき。</p>	<p>記載しました。</p>
<p>P39 片上鉄道産業遺産として「清水トンネル」、「流川鉄橋跡」、「片上ロマン街道」、「デーゼル機関車」などを記載すべきである。</p>	<p>岡山県近代化遺産総合調査で報告された遺跡をあげているので記載していません。</p>
<p>P42～45 民俗調査、産業遺産調査そして評価に力を入れるべき。</p>	<p>文化資源の保存活用に関する現状と課題が趣旨であり、この項では記述していません。</p>
<p>P53 備前市ゆかりの人物の顕彰で、山田方谷、津田永忠などについてもあわせて行うべきである。</p>	<p>修正しました。</p>
<p>P54 活動団体の取り組み支援で支援を検討します。の文言を支援するとすべきではないか。</p>	<p>今後の検討課題とします。</p>

	<p>P57 耐火煉瓦産業で日本の近代化・・・品川リファクトリーズ(株)工場内の産業遺産を調査し、記載すべきではないか。</p> <p>・ロウ石とろう石の表現があるが、ろう石に統一すべき。</p> <p>P58 津田永忠について詳しく触れるべきである。</p> <p>P62 耐火煉瓦工業の近代化遺産群と煙突群の文言で、耐火煉瓦工業の表現について統一すべきである。</p> <p>P67 6行目 備前焼の窯の技術を持つ地域が近くにあったこと・・・、備前焼の窯の構造と耐火煉瓦の焼成用窯とは構造が異なるとの意見も有るので確認すること。</p> <p>P70 藤原審爾文学碑、柴田鍊三郎文学碑の写真も入れるべき。</p> <p>P72 長縄手遺跡について詳しく触れ顕彰すべきである。</p> <p>P73</p> <p>・片上鉄道ゼロ起点の写真が古いので差し替えて、写真説明も入れるべき。</p> <p>・備前緑陽高等学校を岡山県立備前緑陽高等学校と記載すべきである。</p> <p>P78 耐火煉瓦関連工場の地図を正確に記載すべきである。</p>	<p>今後の検討課題とします。</p> <p>統一しました。</p> <p>偉人の顕彰の項目ではないので、ここでは詳述していません。</p> <p>統一しました。</p> <p>今後の研究課題と考えます。表現を変更しました。</p> <p>関連する別の部分へ掲載しました。</p> <p>遺跡の顕彰は別の項目と考えます。</p> <p>写真を差替え、説明を付しました。</p> <p>該当箇所は構成の都合上削除しています。</p> <p>地図の表現に一定の決まりがあるので、今後の検討課題とします。</p>
--	--	---

<p>P74～P80</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片上地区で宇佐八幡宮の春祭り、伊部地区の備前焼まつりを記載すべきである。 ・祭の保存でまちづくりに結びつける方策を記載すべきである。 ・宇佐八幡宮は足利尊氏ゆかりのお宮についても触れるべきと考える。 ・片上地区で行われてきている、お夏踊りなど地域で行われる踊りも取り上げるべきである。 ・片上鉄道関連遺産で清水トンネル、ディーゼル機関車（DD13-552）、流川鉄橋、片鉄ロマン街道など記載すべきである。秀吉の大返しのルートも記載すべきである。 <p>P86</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤原審爾が落ちている。備前市立歴史民俗資料館の位置づけを明確にする。民俗資料、昔の暮らしの道具から学ぶ、回想法、戦争体験の継承などの重要性にも触れるべきと考える。 <p>P88</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備前郷土史研究会について、市内の歴史・・・を市内外の歴史や民俗文化財の研究、郷土の歴史を調査報告の表現とすること。また、今後の方向と何に期待しているのか分からない。 ・文化芸術振興費補助金交付に向けて計画内容の充実努めるべきである。 	<p>今後の検討課題とします。</p> <p>今後の課題として検討いたします。そのために現在調査を計画中です。</p> <p>個々の文化財の内容に関しては詳述していません。</p> <p>詳細な文化財の記述はしていません。</p> <p>詳細な文化財の記述はしていません。</p> <p>施設概要は一定の決まりの中で記述していますので、ご指摘の内容までは記述できません。</p> <p>訂正しました。今後の方向と期待の如何については、この地域計画を推進していくにあたり連携を図りたいというものです。</p> <p>関係機関と連携をとりながら、協議が整ったところから順次進めていきます。</p>
--	--

